

平成21年度 事業計画について

平成21年2月27日

東日本電信電話株式会社

1. 収支計画

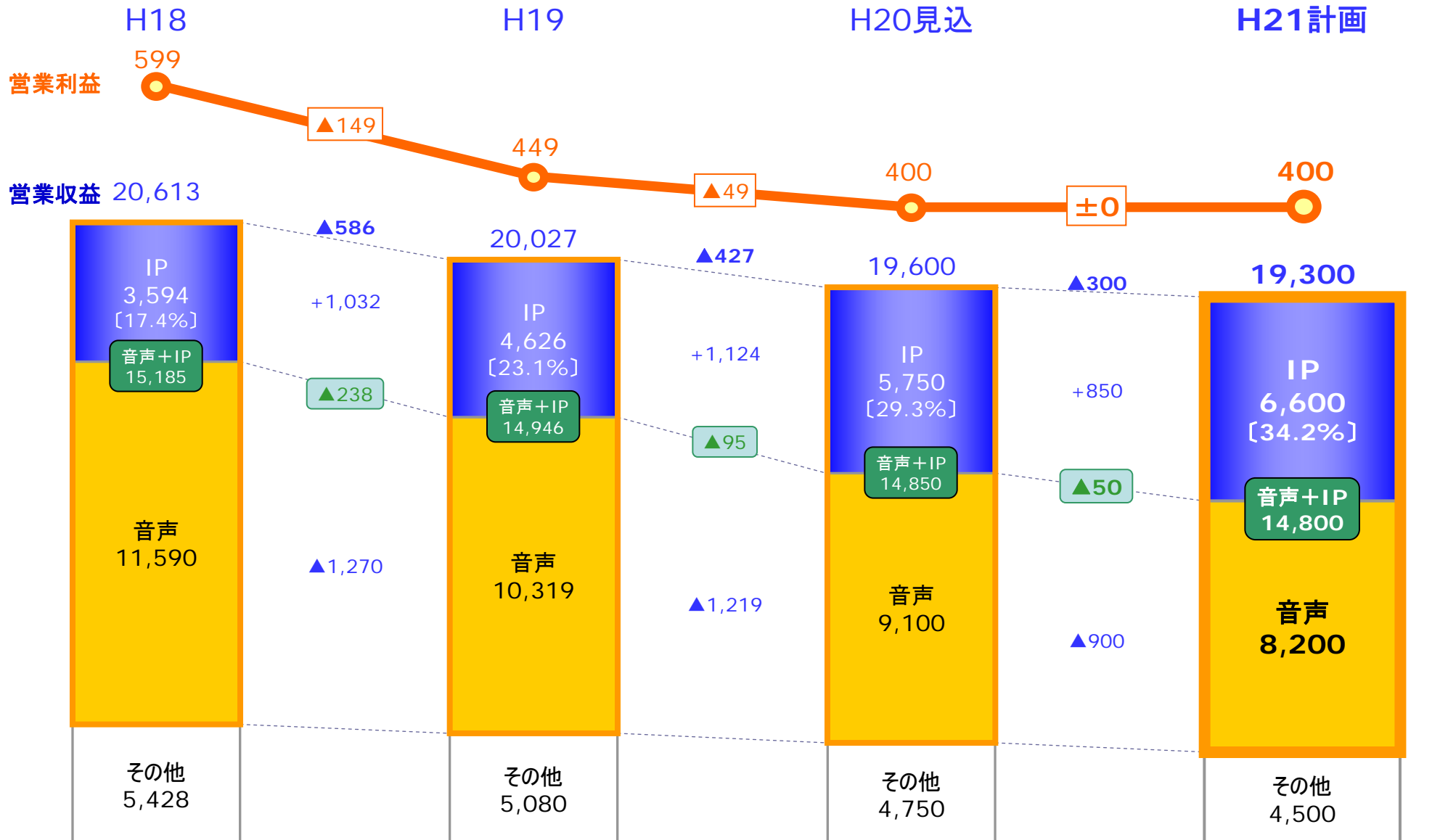
(単位:億円)

項 目	H21	H20	増減額
営業収益	19,300	19,600	▲ 300
(再)音声伝送収入(IP系除く)	8,200	9,100	▲ 900
(再)IP系収入	6,600	5,750	850
(再)専用収入(IP系除く)	1,600	1,710	▲ 110
営業費用	18,900	19,200	▲ 300
(再)人件費	1,140	1,150	▲ 10
(再)経費	12,450	12,800	▲ 350
(再)減価償却費等	5,310	5,250	60
営業利益	400	400	0
営業外損益	200	300	▲ 100
経常利益	600	700	▲ 100

(注1) H20の数値については、第2四半期決算時に発表した数値から変更しております。
変更前の数値は、音声伝送収入(IP系除く):9,000億円、IP系収入:5,900億円であります。

2. 営業利益の推移と収益構造の変化

(単位:億円)



※[]は営業収益に占める構成比

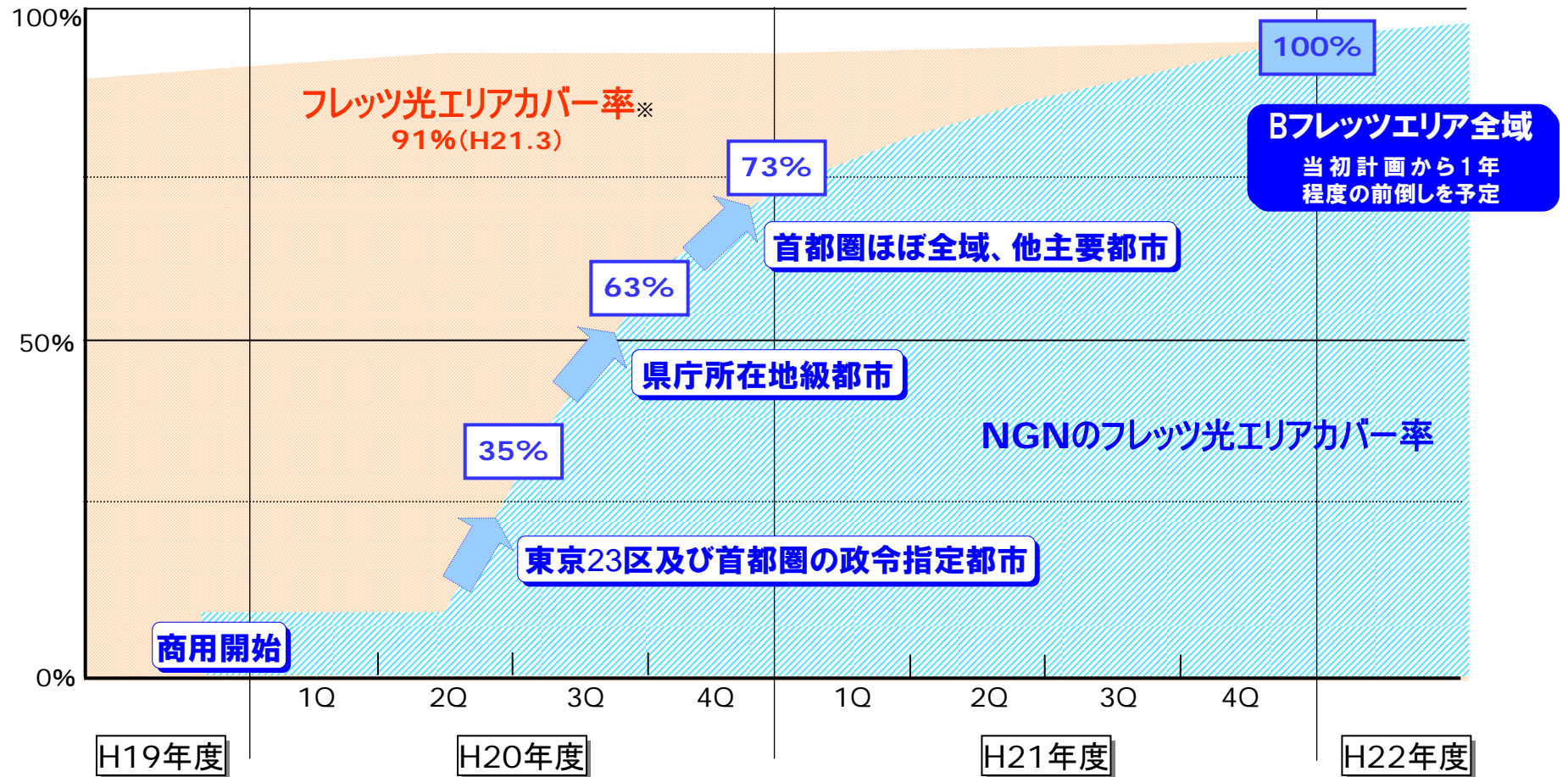
3. 設備投資計画

(単位:億円)

項 目	H21	H20	増減額
サービスの拡充・改善	4,310	4,300	10
(再)音声伝送	1,600	1,500	100
(再)データ伝送	700	650	50
(再)専 用	2,000	2,140	▲ 140
(再)電 報	10	10	0
研究施設	30	40	▲ 10
共通施設等	260	260	0
合 計	4,600	4,600	0
(再)アクセス網光化投資	約 1,800	約 1,800	0

(注) H20の数値については、第2四半期決算時に発表した数値から変更しております。
 変更前の数値は、サービスの拡充・改善:4,250億円、データ伝送:600億円、設備投資合計:4,550億円であります。

4. NGNのエリア展開



※フレッツ光エリアカバー率 = $\frac{\text{フレッツ光提供エリア内固定電話施設数}}{\text{固定電話施設数}}$

5. 主要サービス計画

(単位:万契約・万加入)

項 目		H21	H20
フレッツ光	契約数	776	636
	純増数	140	140
加入電話+ISDN	加入数	1,920	2,100
	純増数	▲180	▲190
(再)加入電話	加入数	1,653	1,801
	純増数	▲148	▲156

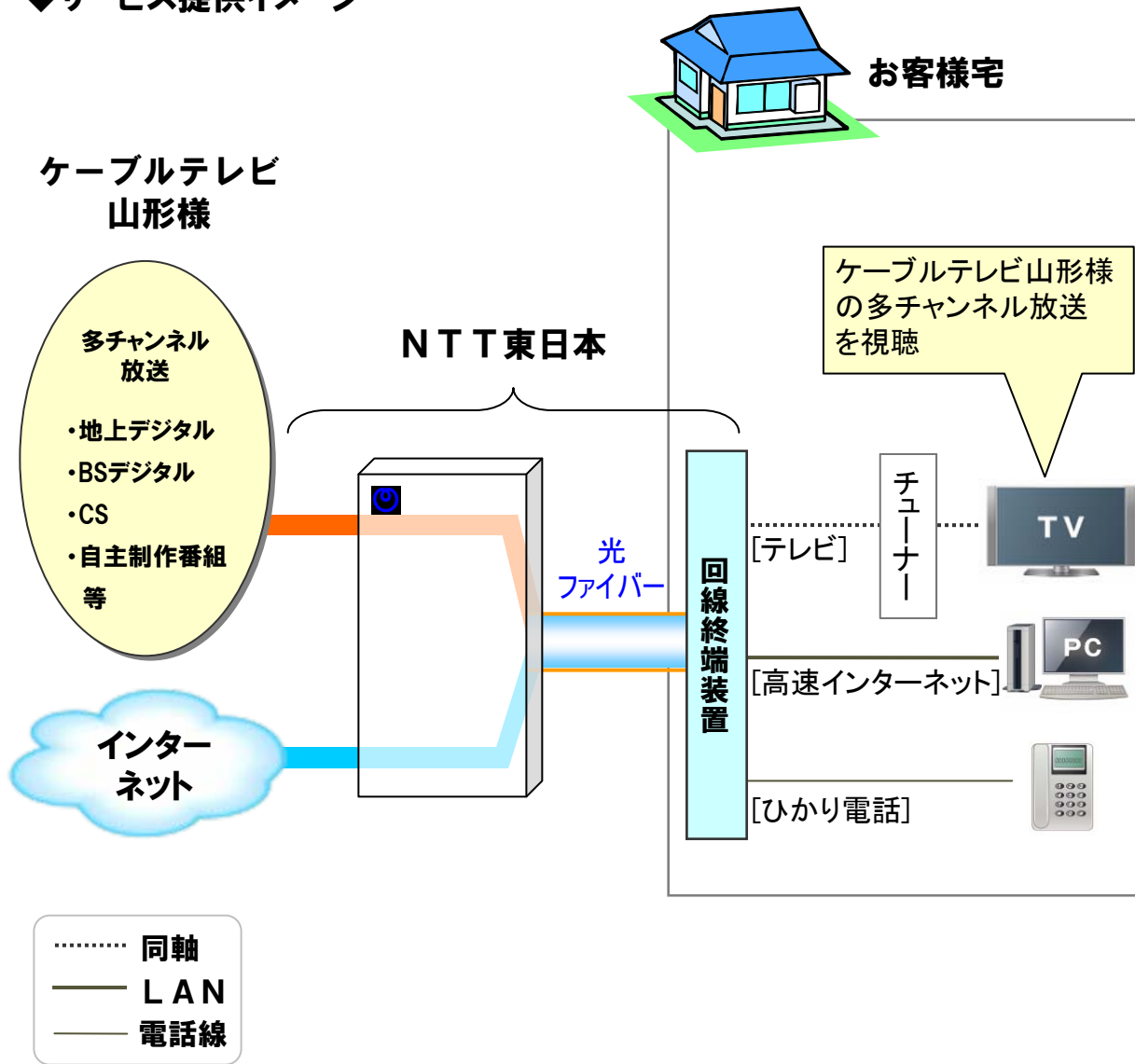
(注1) ISDNについては、INSネット64とINSネット1500の合算値。INSネット1500はチャンネル数、伝送速度、回線使用料(基本料)いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

(注2) H20の数値については、第2四半期決算時に発表した数値から変更しております。

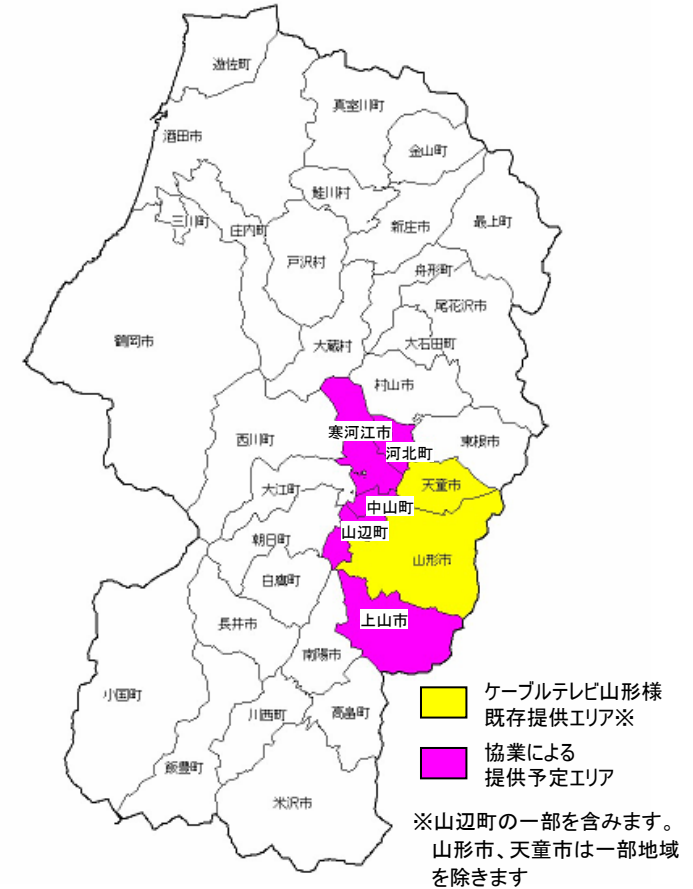
第2四半期決算時に発表したH20の数値は、フレッツ光:契約数656万契約・純増数160万契約、加入電話+ISDN:2,070万加入・純増数▲220万加入、加入電話:加入数1,777万加入・純増数▲180万加入であります。

(参考) ケーブルテレビ山形様とNTT東日本の協業

◆サービス提供イメージ



◆サービス提供エリア

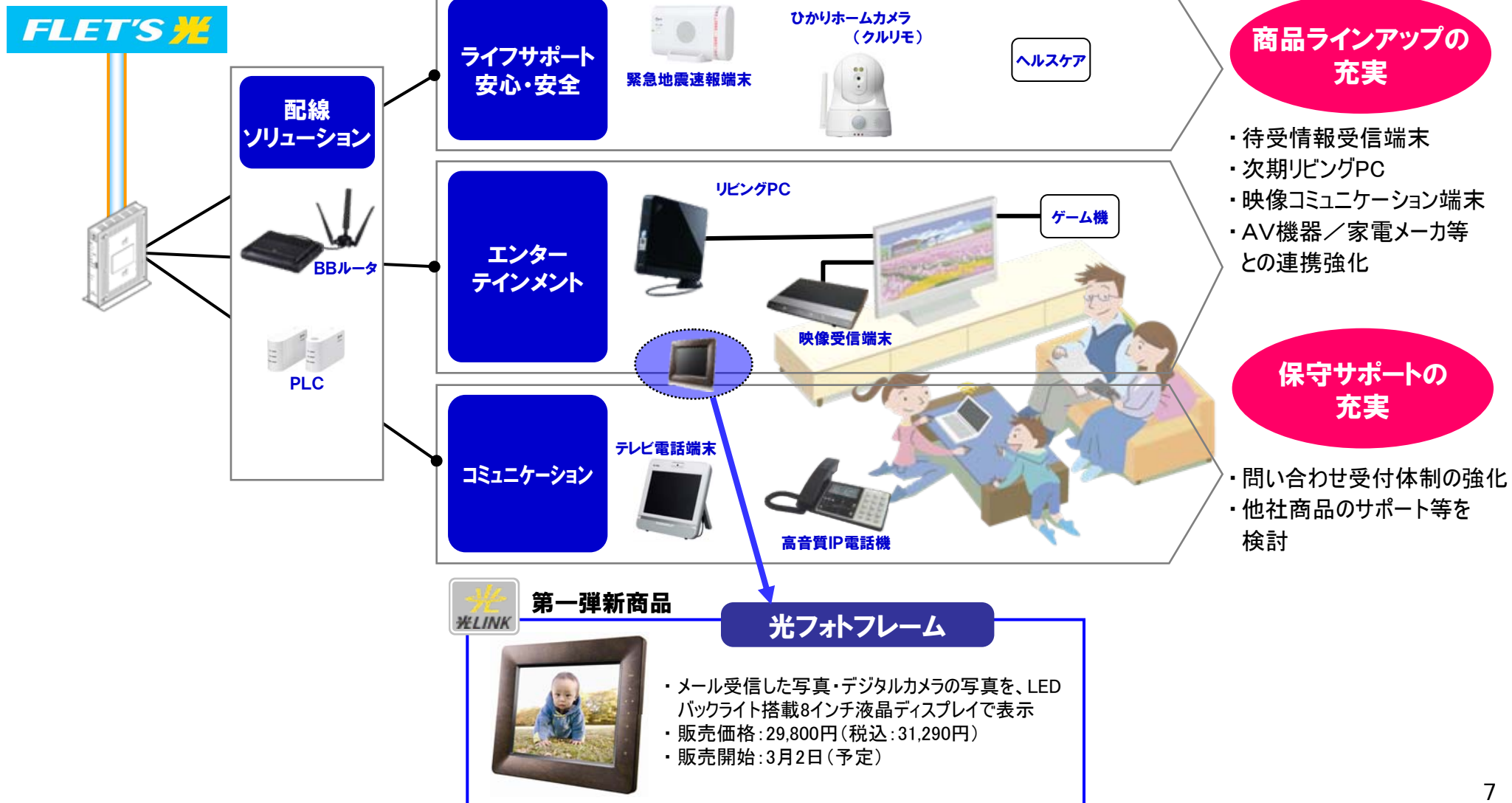


・提供エリア
 上山市、寒河江市、河北町、中山町、山辺町
 (一部地域を除いた約3.3万世帯)

・サービス提供予定時期
 H21年度第2四半期

(参考) 通信端末の新シリーズ

～フレッツ光による便利で快適な生活を～



本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。